

インドネシアにおける環境対策技術ニーズ（課題とビジネスチャンス）

インドネシア環境省 第7局 標準化・環境技術担当課 課長補佐

Arif Wibowo (Email: wibowo_arif@gmail.com)

10年前（2002～2003年）より、インドネシア政府は環境省を通じて企業の環境管理パフォーマンスを評価する PROPER プログラム（Performance Level Evaluation Program）を実施している。このプログラムは、企業の環境マネジメントの達成状況を一般公開することで、産業界に環境パフォーマンスの改善を奨励することを目的としている。

PROPER の評価には、基準となる2つの格付け（分類）がある。1つ目の基準は、青、赤、黒レベルに分類される環境規制に対する遵守状態を評価するために用いられる。これらの規制は、環境影響評価（EIA）、水質汚濁防止、大気汚染防止、海水汚染防止、環境保護に係るものである。2つ目の基準は、遵守基準を満たした上での更なる対策のレベルを評価するもので、緑や金の格付けが付与される。このレベルは、環境マネジメントシステムの実施状況、エネルギー効率、排出量削減、危険・有害廃棄物の利用状況、非有害廃棄物の3R、水質保全、水質汚濁発生量の抑制、生物多様性保全、コミュニティ開発の実施状況等で評価される。

2012年には71種類の産業から1,317社がPROPERで評価されたが、主要産業はパームオイル、繊維、紙パルプ、クラムラバー（ゴム産業）、石油・ガスの採掘・生産、飲食産業、ホテル、病院、鉱業等であった。

図1は2012年の評価結果であり、69%の参加企業が規制を遵守していた（青、緑、金レベルを保持）ことが分かる。これらは、砂糖、パームオイル、繊維、クラムラバー、病院、石炭鉱業、石油・ガス、ホテル、飲食業である。残りの約409社の不遵守企業（赤、黒レベルを保持）であり、その内の62%は排水排出基準を満たしていない（図2を参照）。

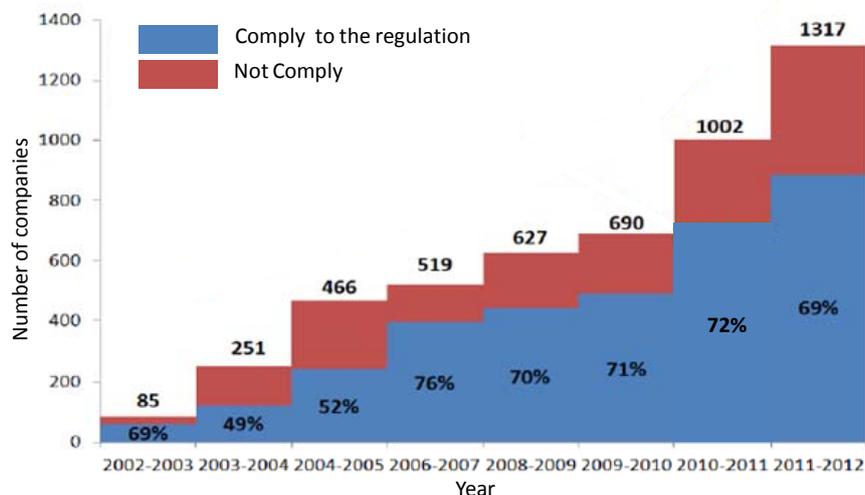


Figure 1. Compliance status of Companies in PROPER programme

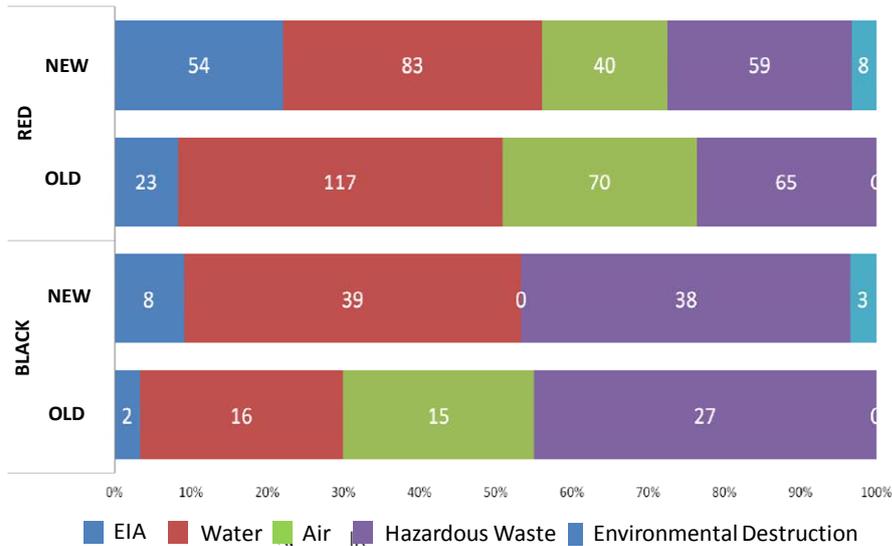


Figure 2. Cause of Non Compliance

10年間の経験を基に、インドネシア環境省は政府が企業に対して環境パフォーマンスの向上を奨励する政策ツールとして PROPER は効果的と考えており、2014年には約2,000社の企業がプログラムに参加すると予測されている。PROPERの成果を一般公開することにより、PROPERプログラムに参加していない企業にも良い影響をもたらすことが期待されている。PROPERによる企業の意識の高まりは、環境ビジネスのチャンスにも繋がるであろう。

日本の技術プロバイダーの経験は、規制遵守及び環境効率を通じた資源保全の両面で、費用対効果が良く、日本とインドネシアの双方にとっての利益を生む解決策の提供に繋がると期待している。

インドネシアの環境技術市場の特徴を理解することは、インドネシアでビジネスを開始する上で重要である。インドネシアは経済成長が期待できることに加えて、この10年間には法執行に積極的な風潮があり、日本の技術プロバイダーがインドネシアの環境技術市場でシェアを拡大する上で良い時期だと考える。また、JICAや日本の環境省等により技術協力が展開されており、今後の二国間の協力を強化していく上での基盤も整備されつつある。日本の技術プロバイダーの経験の共有と積極的な市場参入が、インドネシアの環境保全につながり、両国の関係強化につながることを望んでいる。